平成29年度　大阪府立岬高等学校　第１回学校協議会　議事録

平成29年５月23日（火）午後３時～

於　岬高等学校　校長室

出席者　【委員】見先　梅川　松本（欠席）　西本　矢田　齋藤　（敬称略）

　　　　【岬高校】校長　教頭（２名）　事務長　首席（教務主任・保健主事）

　　　　　　　　　進路指導主事　生徒指導主事　国際交流委員長

特別支援コーディネーター　各学年主任　初任者（２名．１名は初任者研修のため欠席）

１．【学校長挨拶】（要旨）

　・今年度の取組みについてご説明させていただくと共に、委員の皆様にいろんな意見をいただければと思います

ので、よろしくお願いいたします。

　①校長より、今年度の学校協議会委員の紹介。

　②教頭より、学校協議会の実施要項の説明。

　③学校協議会会長に見先氏を、会長代理に西本氏を選出。

２．【報告事項】

　①エンパワメントスクール進捗状況

　〇校長より

　　まず、１年生についてです。今年も２１０名の新入生を迎えることができました。早速、授業にしっかりと取

り組んでくれています。モジュール授業ですが昨年同様、国語、数学、英語につきましては３０分の授業を朝

一番から行なっています。時には小学校の内容までさかのぼって、基礎基本を確認しております。今年の１年

生は特に学び直しに対する意識が高いと学年からの報告も聞いております。また、特徴のある取り組みとしま

しては考える時間Ⅰと産業社会と人間があります。考える時間Ⅰは昨年同様、答えが１つでない問題について

仲間と協力しあいながら解決していくという取り組みをやっています。今年は昨年と違い、複数の教員が授業

に入り、行なっています。産業社会と人間は考える時間Ⅰと重複する内容はありますが、どちらかというとキ

ャリア教育の観点からの学習に重心をおいております。続きまして、２年生についてです。進級の状況につい

てお話しておきます。２１０名受け入れた学年ですが、残念ながら１９０名が進級ということです。高校での

学習意欲を失ったり、中には目的を見失った生徒がいたり、遅刻欠席が多く進級できなかったり、転学あるい

は退学ということで、全員が進級するということには至りませんでした。２年生では選択科目や系列の授業も

始まってはいますが、考える時間Ⅰに続く、考える時間Ⅱにも取り組んでいます。これは１年間を６つの期間

に分けまして、６つの分野に取り組みます。６つの分野は国語と英語、社会、数学と理科、芸術、体育、家庭

の時間です。第１回のオリエンテーションでは、担当教員が楽しみながら生徒に説明をされている、角度を変

えて教科の内容にアプローチする新鮮な気づきがあったのではないかと感じています。続きまして、系列及び

３年生の専門コースについて、海洋、情報、英語・国際、福祉・保育・スポーツとございます。海洋につきま

しては一昨年はフグの養殖をすることができなかったのですが、昨年度は水産試験場からフグを５０匹いただ

きまして、養殖もうまくいきました。年度末には生徒たちも調理していただきました。情報、英語・国際系列

については、パソコン検定、英語検定に関わる科目もあり、その参加者の増加も目標にしてやっているところ

です。福祉・保育・スポーツについてですが、福祉については今年度、社会福祉基礎の科目も開講しておりま

す。実習室も昨年度の間に整備をしてきました。介護初任者の研修の資格に関して、専門学校との連携が今後

の課題となっています。どの系列につきましても卒業後の進路にどう繋げていくかということが課題になっているかなというふうに考えております。長、中期的な課題です。地域連携ということで、４月１日に学校の裏を通ります第二阪和国道の開通式典がございました。吹奏楽部がオープニングを飾ることができました。続いて４月２９日は淡輪つつじ祭りがございまして、吹奏楽部、軽音楽部が参加させていただきました。引き続きこいうった地域のイベントにも生徒が積極的に関わっていけたらなと思います。以上です。

（質疑応答）

　教　　頭：今の報告について、委員様からご質問等ございませんでしょうか。

　委　　員：国道の開通式典では吹奏楽部の生徒が演奏してくれましたが、角度が悪く見えにくかったのが残念で

した。

　校　　長：そうですね。残念でした。当日は自民党の二階幹事長や松井知事のSPがあちこちにいて、緊張した

面持ちになっていました。生徒たちは壇上で演奏するよりはかえって良かったのかなと思います。こ

ういう素晴らしい機会を与えていただき、ありがたいと思います。

　②各学年の指導目標

　〇第１学年主任より

大きく４つに分けています。１つめは「マナーを知り、理解し、遵守する」です。規則をただ単に守るということだけではなくて、マナーの面でもこれから指導が必要かなと考えています。高校を卒業するまで３年間ありますが、早い子は３年後には社会に出ますので、社会に出て恥ずかしくないような行動をとれる人間に育てたいという思いでそのように設定しております。２つめは「授業を大切にする」です。これは当然のことですが、エンパワメントスクールですので、もう一度学び直し、基礎基本からやり直す気持ちを大切にしたいということで取り組んでいます。３つめの「挨拶」については、今年度の１年生は比較的挨拶を返してくれる生徒が多いですが、自分から進んで、人の目を見て挨拶できるように、少しずつ目標を上げていき、３年間送らせたいと思います。最後の目標は「チャレンジ」に設定しています。それだけでは分かりにくいので、スローガンを「ワクワク大作戦」とし、生徒も教員もワクワクするような学校の空間を作っていきたいということで様々な取り組みをしていきます。以上です。

　〇第２学年主任より

　　学年の指導目標は４つを軸にしています。１つめ「基本的生活習慣を身につけさせる」、２つめ「基礎学力・進路意識の向上を図る」、３つめ「礼儀・挨拶を場面に応じて適切にできるようにさせる」、４つめ「すべての生徒が安心して高校生活を送れる環境を維持するために、徹底した指導を行う」です。昨年度も同じ目標を掲げさせてもらっています。「社会に出たときに子どもたちが困らないように」を念頭に適切な場面で指導し、学校生活を送らせたいと考えています。特に今年度は中だるみと言われてしまう学年ですが、「Re」という学年目標を設定しまして、生徒にあらゆる場面で「再」ということを意識させ、奮起を促していきたいと思います。「Re start」、「Re mind」「Re set」「Re member」など子どもたちにイメージできるところを「Re」という目標を立てて、頑張っていこうと声かけしていきます。目標達成するために、各家庭や教科、分掌と連携して、連絡・相談を重ねながら、学年団全員で生徒に対し、一貫した指導を粘り強く続けていきます。以上です。

　〇第３学年主任より

　　３７期です。この学年は７クラスでスタートしました。生徒数は２４１名から１８３名まで減りました。今年は６クラスです。学年目標は「やってみなはれ　８１０３７８０　Never Give Up!」です。この学年は１年生の時から「やってみなはれ」という言葉を生徒とともに共有して、生徒の中でもその言葉が飛び交うくらい意識ができていると思います。何事にも挑戦させてきた学年ですが、３年生では進路を決めるにあたって上手くいかないことが多々あると思うので、その辺は諦めず頑張ってほしいということで「Never Give Up!」としています。具体的な目標ですが、１つめは「全員卒業をめざして指導する」です。３年生がスタートして、遅刻、欠席がかなり多いです。ちゃんと学校に来ないと卒業は無いと、担任から保護者連絡をしてもらっています。２つめは「全員進路決定をめざして指導する」です。生徒が希望する道に１００％進めるように、生徒、保護者、進路指導部と話を進めていきます。３つめは「授業を大切にし、子どもたちがしっかり取り組めるように指導する」です。半数以上の生徒が就職をします。就職が決まってもその後の授業を大切にしてほしいです。教員も魅力ある授業を展開していかないといけません。指導力も教員全体で磨いていきたいです。最後ですが、この学年は１年生では「やってみなはれ」という目標を生徒と教員間で共有し、何事にも挑戦しようと試みました。２年生は「やってみなはれ、一歩先へ、もっと先へ」という目標で、少しでも１年生のときより成長することを期待してきました。最終学年では上記の目標を生徒と共有し、教員と生徒学年全体で一致団結し卒業に向けて頑張っていきたいと考えています。以上です。

　③各部事業報告

　○生徒指導部より

　　・登下校及び休憩時間の立ち番指導について

　　　立ち番指導の主な目的は、身だしなみ指導、挨拶の励行、遅刻指導です。

・年５回の生活指導キャンペーンについて

第１回は「すがすがしくスタートを切ろう」、第２回は「身だしなみを整えよう」をテーマに行ないました。

残り３回分もそれぞれのテーマについて行なっていきます。

　　・生徒指導に関する講演について

　　　４月には制服着こなしセミナーを行い、６月には薬物乱用防止教室、７月には交通マナーと交通安全指導等

　　　を行なう予定です。

・進捗状況

　　　昨年に引き続き登下校時の階段、スロープに立ち番を設置することで、登下校時の問題行動防止、遅刻防止

　　　に役立っています。昨年からの課題としては、教員の目の届かない場所等での問題行動などの対処です。現

　　　在、生徒指導部と各学年が意見交換や情報共有できる部屋を作り、有効活用することで、立ち番の情報や学

年で起こっている事象に対してすばやく対応できるよう進めています。結果としては国道横断阻止や、くに

べ坂の利用などの目の届きにくい場所などについても一定の成果を上げ、対応できていると思います。この

ように報告、連絡、相談を密に行い、手の届きにくかった問題や事象にも対処できるよう進めていきたいと

考えています。

○教務部より

・平成２８年度在籍異動について

　　　４月当初の在籍は、１年２１８名、２年１９６名、３年２１１名です。転退学者数は４７名です。昨年度は

８０名でしたので、大幅に減っています。生徒数が減っているのもありますが、改編でエンパワメントスク

ールになり、教育課程が大きく変わったというのが要因かと思います。

　　・入学者選抜について

　　　特別入学者選抜です。Step１では、学力検査一定以上の者から、自己申告書・調査書所見・面接により、Step

２では学力検査５教科、調査書評定により合格者が決定しました。志願者数ですが、２４２名で、倍率は１．１５倍でした。受験生の層が決まってきたのかと思います。

　　・平成２９年度計画について

　　　教務の使命として、滞りなく、学校が運営されることが大切です。１，２年生が総合学科、３年生が普通科ということで、過渡期で複雑なことになっています。いろんな教育課程上の工夫をしながらやっております、

　　　まずそれが、ちゃんと運営されるということを大きな目標としています。今年度の重点課題は、来年度はエンパワメントスクール３年次が初めて始まるので、科目選択の仕方や３学年のベースとなる時間割編成など、いろいろ作っていかなくてはいけないと思っています。引き続き、１，２学期末の補習や追認指導を実施し、年度末における欠点者の減少をめざしています。

　○進路指導部より

　　・３６期生の進路状況について

卒業生は２０５名、進学は５９名で２８．８％、就職は１３０名で６３．４％、その他が１６名で７．８％

となっています。

　　・進学について

　　　４年制大学が５名、短期大学が４名、専門学校が５０名、計５９名です。指定校推薦、AO入試での合格がほ

とんどです。公募推薦、一般推薦は少ないです。

　　・就職について

求人件数ですが、この３年では３２２件、３９６件、４４５件と増加傾向です。私が知っている限りでは、

昨年度が一番多かったと把握しています。サービスが１２０件、技能が１４４件と多くなっていますが、事

務は１６件と例年通り少ない傾向にあります。事務を希望する生徒は多いのですが、生徒に対しては少ない

のかと思います。事務の求人が少ないのは本校だけではなく、周辺校でも同様でして、そこに生徒が集中す

る傾向にあって、事務職の求人で内定を得ることは結構少ない状況です。学校紹介就職の応募結果ですが、

１次は８５名応募のうち５０名が、２次は４９名のうち２７名が、合計としては１３４名のうち７７名が合

格となっています。

　○国際交流委員会より

　　　台湾研修ですが、今年で５回目になります。現在、交流校と日程調整中です。生徒参加は現在３名ですが、

４人、５人と増やしていければと考えています。具体的な内容が決まりましたら、次回の協議会で報告させ

ていただきたいと思います。

　○特別支援検討委員会より

　　・学校における特別支援教育の位置づけについて

・校内委員会の設置の目的について

　　・本校の現状と設置理由について

「通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する全国調査」では、LD、ADHD、高機

能自閉症を含む特別な教育的支援を必要とする児童生徒は全国調査では全体の６．５％でした。本校ではこ

の約２倍程度ではないかと思います。通常の全体指導ではなかなかわからない生徒に対しても合理的配慮を

通じて、環境整備等が必要になってくると考えております。そういう生徒に対しては個別の支援計画を立て、

学校生活を送っていけるようにするということと、病気等様々な理由で登校が難しい生徒につきましても、

いろんな支援を検討するというような役割を果たしております。スクールカウンセラーは年間２６回、スク

ールソーシャルワーカーは１７回来ていただいています。支援委員会に関しましては図のフローチャートの

流れで進めています。現在、支援計画は１名立てていますが、１，２年生でも必要となる生徒が出てくるか

もしれません。

（質疑応答）

　教　　頭：各部からの報告は以上です。報告についてご質問、ご意見等ございましたらお願いします。

　委　　員：スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、スーパーバイザーについて、簡単に仕事内容

　　　　　　を教えていただけますか。

　特別支援検討委員長：スクールカウンセラーは心理の専門家ですので、悩みを抱えていたり、障がいをもっている生徒に対

し、どう対応していくかという見立てをしていただいたり、今後の指導方針のアドバイスをいただき

ます。スクールソーシャルワーカーは福祉の専門家です。家庭がたいへんで学校に登校できない等の

生徒に関して、外部と学校とつなぐ役割をしていただいています。スーパーバイザーはスクールカウ

ンセラー、スクールソーシャルワーカーへのアドバイザーで、全体の総括をしていただいています。

　委　　員：下校時に喫煙をしている生徒を見つけ、立ち番教員に伝えたところ、次の日にはそこに立ち番を移動

してくれました。そこでの喫煙はなくなりました。

　教　　頭：生徒指導の先生も立ち番は固定ではなく、位置を変えて工夫していただいています。

　委　　員：各学年の取り組み目標は全て社会に出たときに役に立つものです。３年生には１，２年生のときから

うまく指導してくれているのに、たるみが出て、遅刻・欠席が多いということは、深刻に受け止めて

いないのではないでしょうか。

　進路部長：毎年３年生を見させていただいていますが、毎年良くなってきています。まだまだ、指導しないとい

けないことが多くありますが、１，２年生の時に頑張って指導してくれていましたので。

　委　　員：協議会ができた時と比べると、年々良くなっていますよ。全く別の学校になったくらい、良くなって

います。国道横断の件についても、しっかり指導すると対策も示してくれていますので、これからま

すます良くなるのかなと思います。

　委　　員：今年は朝に挨拶してくれる生徒が増えました。良くなっていると思います。ただ、この前駅の改札付

近で、友人を待つ生徒が多くいたので、通行の妨げになっていたのが残念でした。

　委　　員：社会に出たときに頭を打つことの無いように、指導お願いします。

３．【協議事項】（見先協議会長の司会進行）

　①平成２９年度　学校経営計画及び学校評価（校長より説明）（要旨）

　　・めざす学校像は、「寄り添う」「粘り強い」教育を実践し、生徒一人ひとりの夢の実現をサポートする。また、自らを高めるとともに、他者を尊重し、社会に貢献することのできる人材を育成する学校をめざすということです。

　　・中期的目標については、教育庁からの指導もありまして、３ヵ年の目標をそれぞれ提示しようとなっている

ところが、昨年度との違いです。

　　※　平成２９年度　学校経営計画及び学校評価の中期的目標「１　エンパワメントスクールの教育内容の確立」

「２　３つの力（新たな自分を創造する力、人間関係を大切にする力、社会に貢献する力）を育む」「３　人

材の育成と管理」「４　地域連携」について説明をしました。

※　本年度の取組内容及び自己評価については、評価指標の数値の追加をしました。

　（質疑応答）

　協議会長：何かご質問ございますか。

　委　　員：キャリア教育の充実のところで、平成２８年度の進路未決定者１６人とありますが、何が問題だった

　　　　　　のでしょうか。

　進路部長：１６名のうちほとんどが、就職をすると言っていましたが動かなかったからです。担任からも、合同

　　　　　　求人説明会があるとか、いろんな企画があると勧めていただいたのですが、全然動き出さないまま卒

　　　　　　業していった生徒がほとんどです。縁故で就職すると言っていましたが、卒業間近に結局そこには就

　　　　　　職できなかった生徒もいます。連絡がつく生徒にはハローワークに行くような指導もさせてもらって

　　　　　　います。概ね、積極的に動かなかったがために、このようになったという状況です。積極的に動いて

　　　　　　いて、最終まで決まらない生徒は例年１，２名です。

　委　　員：成績証明書がなければ、次の就職先にいけないですよね。

　進路部長：ハローワークの方では、６月までは新卒扱いで扱ってくれます。それ以降は学校から調査書を出すと

いうことはなくて、ハローワークで就職の斡旋をしてくれます。ハローワークの担当者とは誰が就職

決まりましたなどのやり取りはしています。直接学校が入って動くことはないです。

　委　　員：車イス体験ボランティアで淡輪小学校へ行ってもらっていますが、我々が行くよりも岬高校の生徒が

　　　　　　行ってもらって小学生に話をしてもらえるほうが小学生も喜んでいます。岬高校の生徒も小学生に頼

られることで自信になると思います。

　校　　長：小学生からはありがとうと感謝のお手紙をもらいました。

　委　　員：小学生も岬高校生もいきいきしていました。

　校　　長：先程の説明の補足ですが、今年度は体育祭のやり方を変えました。今までは学年で分けて行なってい

ましたが、各学年２クラスずつが集まり、１つのチームを作りました。いわゆる縦割りです。他校で

はそういうチームが応援団をつくったりしています。そこまでいく期待もしています。文化祭にもそ

ういった工夫を広げることができればと考えています。先生方に期待をしています。

　委　　員：人権教育の計画を教えていただけますか。

　校　　長：車イスバスケットを今までしていましたが、国の事業の関係で毎年はやってくれなくなったようです。

　人権教育推進委員会：車イスバスケットの選手に講演をしていただく等は考えています。時期についても検討中です。

　委　　員：岬町の方でもパラリンピックへの出場に向けて頑張っている方もいます。講演会も経験されています。

　　　　　　そういった方にもお願いしてみてはどうでしょうか。

　協議会長：駅長さん、この頃は問題無いですか。

　委　　員：最近はネット社会ですので、お客様からはいろんなご意見をいただいておりますが、ここ最近は特に

　　　　　　はございません。先生が駅への指導にきてくれたときには、それを見た生徒がすぐにそのことを拡散

　　　　　　しますので、問題行動があってもすぐに散らばってしまいます。特定の場所での問題行動は防げても、

　　　　　　それがまた別の場所に移動するだけで。先程、改札付近でたまっているという話がありましたが、我々

　　　　　　もマナー啓発として学校と協力しながら指導に取り組んでいきます。学校教育自己診断の「高校には

いろいろなきまりがあって厳しいけれど、自分のためになっていると思う」の否定的な意見が多いの

は残念です。その辺のことは、学校でするのか、家庭でするのか、きまり・ルールは守らないといけ

ないので。高校を卒業して社会に出る生徒が多いと思いますが、社会のルールを守れるようにならな

いといけませんので、勉強も大切ですが、そのことについても学校で教えていただければと思います。

　委　　員：社会のルール以前に家庭のルールを守っていかないといけませんね。

　委　　員：学校でする部分、家庭でする部分両方で必要かと思います。

　協議会長：その他、ご意見無いようでしたらこの辺で終了したいと思います。

　教　　頭：必要なご意見をたくさんいただきまして、今後の学校運営に参考にさせていただきたいと思います。お時間がまいりましたので、これをもちまして、終了させていただきます。次会開催は10月中旬が２学期の中間考査期間となりますので、その辺りで調整させていただきます。また、具体な日程が決定いたしましたら、連絡させていただきます。本日はどうもありがとうございました。